

## 基本計画名称について

## (1) 回答結果

①八戸市文化芸術推進基本計画	0名
②はちのへ文化のまちづくりプラン	8名
③その他	3名
未回答	4名

## (2) 意見内容

回答	意見内容
②	理由としては、 ・(具体的なことは解らないまでも)まちが取組を進めていることはすぐに読み取ることができる。 ・年齢を問わず認知することができる ・①よりも堅苦しくない言葉を用いることで、市民にとって受け止め方が大きく変わり、取組に興味をもってくれる方が増えるのではないか  確かに、県外では「八戸」の地名が読めないと思う。対外的にもそうですが、年齢を問わず読みやすい平仮名にすることで、より柔らかな印象になると思う。
②	市民への浸透のしやすさという意図だと理解できる。①は文化庁や青森県の計画名称と混同されやすいと思った。しかし、字面だけでみると「はちのへ文化」でうっかり切ってしまうような気もする。
②	親しみやすくわかりやすい。
②	誰にでもわかりやすくてとても良いネーミングだと思う。
②	①は硬くて、文化推進事業の表題には馴染まない気がする。
③	①も②もどちらもよいと思うが、②の方がやわらかい感じがする。①は格が上がるので、今の状況だとちょっとついていけないかもしれないが、①でも分かる。そのほか、「八戸市文化のまちづくりプラン」も良いのではないかと思う。八戸という漢字は確かに読めない方がいるが、社会科の勉強をしてこなかった方かなとも思っている。「はちのへ」でもどちらでもよいと思う。
③	①は漢字ばかりで硬く、②は芸術の記述がないため「はちのへ文化芸術まちづくりプラン」はどうか。
③	②の表題の場合には「か」で①も明記しないと第三者が何かに資料等として取り上げられた場合に不都合が生じる懸念がある。経験談では、かつて三沢市で男女共同参画推進基本計画を策定した際に、「みさわハーモニープラン」としたが、これでは正確に伝わらないことがわかった。(年配の方には何のハーモニーか?となったよう) 他県でも静岡?のように「か」をつけて、堅苦しく明記をしているところがある。

(3) 計画名称案 **はちのへ文化のまちづくりプラン** ～八戸市文化芸術推進基本計画～